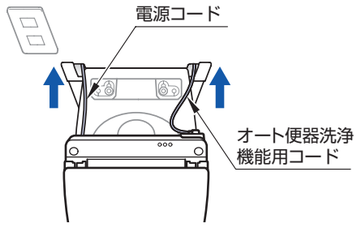
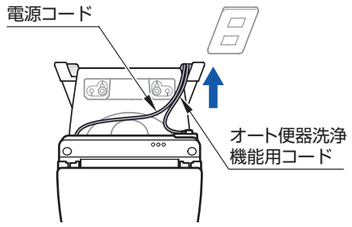
④ コードとホースを収める

- 前板切欠き部よりコードを押し込んで収める。

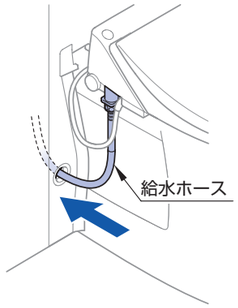
コンセントが左にある場合



コンセントが右にある場合



- ホースが折れないように注意しながら、たるまない程度にキャビネットの中に入れ込んで収める。

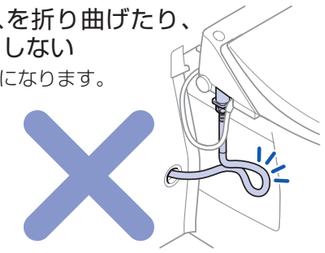


⚠ 注意

連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

水漏れの原因になります。

禁止



電気温水器

参照 電気温水器のお手入れは、付属の取扱説明書をご参照ください。

冬場の凍結を防ぐ

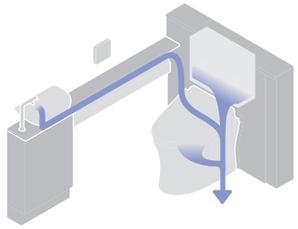
凍結予防には２通りの方法があります。

凍結が予想されるときは、以下の処置を行いましょう！

- 製品が凍結すると機器が破損し水漏れの原因となります。
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が凍結予防限界温度以下にならないようにしてください。

水抜方式

器具および配管中の水を抜いて凍結を予防します。



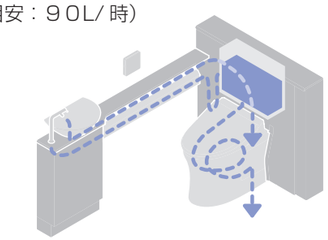
凍結予防限界温度	
大便器･タンク（室内暖房用）	0℃
（ヒーター付便器併用）	−15℃
ウォシュレット部	0℃
手洗器部	0℃

流動方式

少量の水を流し続けて凍結を予防します。

水は動いていると0℃以下でも凍りにくい性質があります。

※タンクの流動レバーを開けた場合、水が流れ続けますので、水道代が加算されます。
（目安：９０L/時）



凍結予防限界温度	
大便器･タンク	−10℃
手洗器部	−10℃

※ウォシュレット部に流動方式はありません。

大便器･タンク

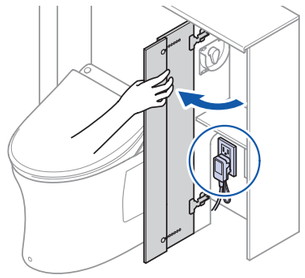
Point!

事前に、水抜栓（他社製品）または大便器キャビネット内の止水栓で、給水を止めてください。

参照 水抜栓の操作方法は、水抜栓の取扱説明書をご参照ください。

水抜方式

① キャビネット扉を開ける



Point!

電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。